



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802 FAX (0263)51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

所長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 1
教職員研修会サポートの様子から・・・・・・・・・・・・ p 2～p 3
令和3年度 教職員研修会サポートについて・・・・・・・・ p 4

所長挨拶

主体性を育む

長野県総合教育センター所長 飯島由美

今年度、当センターは新型コロナウイルス感染症対策のため、参集研修の開始時期を遅らせたり、実施方法を変えたりしながら研修講座等を実施してまいりました。受講者の皆様をはじめ、当センターをご利用いただいた皆様には、ご理解とご協力をいただきましたことにお礼申し上げます。

さて、子どもたちの「主体性」を育むことについては、学校教育法第30条第2項に「主体的に学習に取り組む態度を養うこと」とあるとおり、日々の教育活動において先生方が様々な形で子どもたちに働きかけ、主体性を引き出す工夫をされていることと思います。

私は「主体的」を「自分自身の頭で考えて判断し、行動できる」という意味に捉えていますが、これがなかなか大人にとっても難しいものだと感じます。そして、今年度はまさに、私たち大人自身が「主体性」を問われた1年だったのではないかと、思うのです。

たとえば、昨春の一斉休校は誰にとっても未知の体験でした。当センターも、学校における先生方の状況を考慮し、一度準備した研修講座のすべてを短期間で見直し、講座を作り直すことになりました。「前例」がないことについて、皆で考えて、とにかくやってみた、というのが正直なところでした。うまくいったことばかりではありませんでしたが、結果として、今後の研修の在り方を大きく見直すよいきっかけになりました。

各学校におかれては、時間的に猶予のない中で、当面の児童・生徒の学習についての対応を考えたり、行事の変更を検討したりといった業務に追われ、手探りで、試行錯誤しながら決断し、実行するといったことが続いたのではないのでしょうか。具体的な「正解」が見えない中で、学校ごとに、日々の教育活動全般について見直しを迫られるという状況は、学校という場所ではまれなことですが、「子どもたちのために」という思いに支えられて、皆で知恵を出し合い、話し合われたことと思います。

では、この間、私たち大人は果たして「主体的」だったのでしょうか。主体性は、明確な見通しや正解が分からない状況の中でこそ求められる資質だと、今年、私は実感しました。

児童・生徒の「主体性」を育むことを学校教育目標に掲げられている学校もあるかと思います。児童・生徒に育みたい「主体性」とは具体的にはどのような姿でしょうか。そして、そのように子どもたちを導き、育む側である私たち大人自身には、児童・生徒に望むような「主体性」があるのでしょうか。

子どもたちに主体性を育む手立てを具体的に考えるために、まず、私たち大人が自らに対して「主体性があるか」と問うてみたいと思います。

教職員研修会サポートの様子から

センターの研修講座「特性の理解と支援 応用Ⅰ～クラスの中の気になる子への支援 小学校 通常学級～」(9月10日実施)を受講しました。講座では、悩んでいる事例について小グループでロールプレイを通して解決方法を考え合いました。

校内の研修会でも取り入れたいと思い、教職員研修会サポートを利用して校内研修会を計画しました。



対象講座を受講された先生が講師となって行う研修会において、研修講座で行った内容を校内研修でも取り入れたいと相談を受けました。そこで、研修会の資料作成やワークショップの運営等を一緒に考え、サポートしました。

研修会のねらいは、先生たち一人一人が発達障がいの特性を知り、自分のクラスにいる心を寄せたい児童について「これならできそうだ」という支援方法を決め、明日から実行することができる。としました。



研修会の様子

①「正しく知ろう」 ～障がい特性の理解と支援方法～



大切なのは「先生方の視点(見方)を変える」こと。先生から見た「困った子」は、実は「困っている子」であり、「困っていることをどうしていいか分からない子」であることを理解してほしいと伝えました。発達障がいを中心とした特性の理解と支援について、表に出てくる姿や言動は同じように見えても、背景異なると支援も異なることを、具体的な事例を踏まえて紹介しました。



先生方は熱心にメモをとりながら聞いていました。日々の子どもの姿と話の内容を重ねながら、頷いて聞いている先生方の姿が見られました。



②「やってみよう」 ～授業のユニバーサルデザイン化～



子どもたちに分かりやすい支援とは？「みんなが分かる・できる」を目指した授業のユニバーサルデザイン化の具体例を紹介しました。学習カードや板書の工夫、ICTの活用など、クラスの実態に合わせて、取り入れられそうなものから始めてみようという提案をしました。



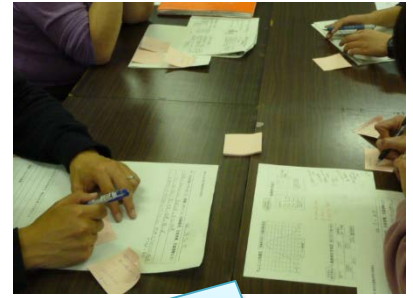
具体的な「授業のユニバーサルデザイン化」の紹介を聞きながら、隣の先生と「これいいね」「できそうだね」「これはやってるよね」などと話す姿が見られました。



③「アイデアを出そう」 ～解決に向けて～

3～4人のグループで15分解決法を行いました。困っていることや悩んでいることを伝え、みんなから解決のアイデアを出してもらいます。

多くのアイデアの中から、明日から取り組みたいことを選び、実践につなげます。



「できたことを褒める」「ルールを見えるように書いておく」「すぐに叱らず理由を丁寧に聞く」「言葉で伝える練習をする」…たくさんのアイデアが付箋に記入されていきました。

グループの先生方から一つ一つ提案されるアイデアに真剣な表情で「なるほど～」と相槌を打ちながら頷いていました。

研修会を通して研修会参加者が共有できたことを実践してみよう



良いところをいっぱい探して多少おおげさでもほめる、とことん付き合う…などをやっている。心と体の平穏が少しずつ取り戻せているかな…と思います。長期戦、のんびりゆったりやっていきます。

勝ち負けにこだわらずゲームを楽しむことを目標に、カルタやおにごっこをするようにした。まだうまくいかないこともあるが続けてやっていきたい。



ルールの確認をして、絵や文字で掲示することで、意識して姿勢を作りやすくなった。繰り返し指導していくことが大切だと実感した。

実際に作成した掲示物の画像を送っていただきました

校内研修会を中心となって進めた先生の感想

研修会に参加した先生方から、「こんなに短時間で、すぐ明日からやってみようと思えるアドバイスをたくさんもらえてよかった」「話を聞いてもらえるだけで気持ちが楽になった」「職員会の中で、定期的にやってみてもよい」等の声をいただいた。すぐに実践できる方法を提案していただき、とてもありがたかった。



総合教育センターより

演習で行った15分解決法は、アイデアをもらえる良さとともに、実は「チーム学校」の第一歩が踏み出せます。困っていることや悩みを話すことで共通理解ができ、アイデアを出し合うことで、他人ごとではなく自分の問題として捉えてもらえます。それが、日常のちょっとした話のきっかけにつながります。ぜひやってみてください！

令和3年度 教職員研修会サポートについて

令和3年度の教職員研修会サポート対象講座は以下のとおりです。
 詳細は4月に各校へ配布される講座案内、リーフレット、総合教育センターホームページなどをご確認ください。
 申込みお待ちしております。



教職員研修会サポート対象講座

「同僚性を発揮する」学校文化の醸成をサポート

研修講座で学んだことを仲間と共有し、協働して取り組んでみませんか。
 教職員研修会サポート対象講座を受講された方が行う研修会を、専門主事がサポートします！



○ 外国語・外国語活動の授業のポイントを共有して、実践をさらに進めたい。

担当部	講座番号	講座名
教科教育部	3-1-05-01	小学校外国語活動・外国語 基礎A ～考えや気持ちを伝えあう言語活動～

○ カリキュラム・マネジメントへの理解を深め、全校で取り組んでいきたい

担当部	講座番号	講座名
教職教育部	3-2-09-41	カリキュラム・マネジメント 応用

○ リスクマネジメントの意識を高め、個人情報を守りたい。

担当部	講座番号	講座名
情報・産業教育部	3-3-01-22	情報モラル 基本Ⅱ ～個人情報を守る情報セキュリティ～

○ 教育相談のすすめ方を理解し、学校が抱える問題解決に生かしたい。

担当部	講座番号	講座名
生徒指導・特別支援教育部	3-5-01-01	教育相談 基礎 ～学ぼう！教育相談の考え方とすすめ方～

○ 特別支援学級、特別支援学校の児童生徒の自立活動について理解を深め、実践につなげたい。

担当部	講座番号	講座名
生徒指導・特別支援教育部	3-6-02-23	特別支援教育 基本Ⅲ ～自立活動の基本～

○ 通常学級に在籍する支援を必要とする子どもの理解と指導・支援に生かしたい。

担当部	講座番号	講座名
生徒指導・特別支援教育部	3-6-03-21	クラスの中の気になる子の支援 基本Ⅰ ～小学校 通常学級～
	3-6-03-22	クラスの中の気になる子の支援 基本Ⅱ ～中学校 通常学級～
	3-6-03-01	クラスの中の気になる子の支援 基礎 ～高等学校～

○ WISC-Ⅳ検査結果を正確に解釈し、児童生徒の支援に生かしたい。

担当部	講座番号	講座名
生徒指導・特別支援教育部	3-6-04-61	専門性の向上 発展 ～WISC-Ⅳ 検査を指導・支援に生かす～